

地域によって違う 各地の方言

アンケートを行った結果、本校に入学してから言葉の違い(イントネーション等も含む)を実感したことがあるかという質問に対して、1年生で「はい」と答えた人は全体の64%、「いいえ」と答えた人は全体の36%だった。感じた違いについて多かった記述は「おはよう」や「ユニバ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)」などのイントネーションの違いやグーとパーでの別れ方の違いであった。また北と南で言葉の違いがある

本校の1・2年生の生徒を対象に方言についてのアンケートを行った。結果、彦根以北、彦根、彦根以南で各地特有の方言があるとわかった。そこで各地域に住む本校生徒に話を聞いた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

▶イントネーションの違いを話す山崎君



という意見も多く挙がった。長浜市に住む山口真歩さん(1-3)は各地の方言の違いを「本校に来るまでは今まで知らなかった各地域特有の方言を聞くようになった。自分の知らない滋賀県の方言を多く聞いて面白い」と話した。彦根市に住む藤田雅大君(1-8)はどのような点で彦根以北、彦根、彦根以南の地域の方言の違いを感じるかについて「彦根以北と以南で大きく違って、南の人ほど関

違いを実感

～アンケート結果より～ (一部抜粋)

- ・長浜方面と大津方面で、店の名前のイントネーションが違う
- ・湖北の人のイントネーションが独特
- ・「できん」の意味が地域によって違う
- ・たまに通じない言葉がある
- ・北の方面の人は独特の言い回しがある
- ・京都寄りに住んでいる人が「～しはる」と言っていて驚いた
- ・彦根の人の「おいしい」のイントネーションが自分が住んでいる地域と違う
- ・彦根と彦根以北と以南で違いを実感する

西弁に近いと思う。本校に来てから自分の知らない言葉が方言かどうかでクラスの中でも方言の話題になることが多く、よく驚くことがある」と述べた。大津市に住む山崎晏世君(2-8)はイントネーションの違いに関して「特に湖北に住んでいる人は語尾が上がる人が多いように感じる。地域によってイントネーションがとても異なっていると思った」と、また同じく大津市に住む浅井天音さん(1-1)は「『じゃがりこ』や『おいしい』、『ミズド(ミスタードーナツ)』などのさまざまな言葉のイントネーションの違いを日常生活の中でよく感じる」とそれぞれコメントを寄せた。

